

ご挨拶

株式会社バルカー
代表取締役会長CEO

瀧澤 利一



令和5年の新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます。

読者の皆さまには日頃から本誌をご愛読いただき、厚く御礼申し上げます。

昨年は、ウィズコロナのあり方が未だ模索される中ではありましたが、世界各地で人々の賑わいが戻り始め、ビジネスも社会生活も活気を取り戻し始めた年でありました。読者の皆さまにおかれましても、年末年始にご家族やご友人との交流を再開された方も多かったのではないのでしょうか。このような情景を思い浮かべながら、テクノロジーニュースの新年号にご挨拶をさせていただけることに久方ぶりの安堵感と喜ばしさを感じています。

さて、当社ではかねてより表明していますとおり、H&S企業への変容を目指して新たなサービスを創造する活動を進めてまいりましたが、現在取り組んでいる中期経営計画 NF2023 においては更なる変革を目指したCX（コーポレートトランスフォーメーション）を推進しています。そのような変革の中心を担うデジタルソリューションに対する取り組みの強化により、サービスとデジタルを融合させた数々の新たな商品アイデアが創造され、既に具体的な提案をさせていただくことが出来るステージに達しています。本年は、お客さまのニーズやペインを把握しながら適切なソリューションを提供出来るように、市場における技術マーケティングの充実をより一層図っていくための施策を実行していきたいと考えています。

一方で、現在の私たちを取り巻くビジネス環境は追い風ばかりではなく、2023年は昨年以上に不透明で混迷の度合いが増すものと覚悟し取り組んでいく必要があると考えています。世界における地政学リスク、鉱物・エネルギー・食料等あらゆる資源にかかわる諸課題などビジネスに負の影響を与える多様な因子について、今まで以上に変化に対して機敏にかつ柔軟に対応することが必要になってきます。上述いたしました施策の一つとして、当社研究開発部門においてはより機動的な動きが可能な組織へと変化をさせ、迅速かつ丁寧にお客さまの開発ニーズに応える体制を2022年度の下期よりスタートさせました。また、同時にサプライチェーン改革を始め多くの変革を進めており、提供させていただく価値の形態も少しずつ変わってまいりますが、当社理念経営の原点であるTHE VALQUA WAYのもと、社名の由来である「Value&Quality」、すなわち「価値の創造と品質の向上」を軸に、常に原点に立ち帰りながら変革への挑戦を続けてまいります。

最後になりますが、今後とも更なるご支援と一層のお引き立てをお願い申し上げますとともに、読者の皆さまの益々の発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。